

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>破裂性腹部大動脈瘤に対する開腹手術とステントグラフト内挿術の 治療選択に関する全国多施設観察研究 (2021003)</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>血管外科 科長兼診療部長 墨 誠</p>
<p>利用目的</p>	<p>破裂性腹部大動脈瘤に対する開腹手術とステントグラフト内挿術の 治療選択に関する全国多施設観察研究</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>2018年1月から2020年12月までの間に当センターで手術を実施し た破裂性腹部大動脈瘤患者（手術を完遂できなかった患者も含む）</p>
<p>研究の方法</p>	<p>破裂AAAに対して開腹手術（OR）とステントグラフト内挿術（SG）の どちらが高い救命率を期待できるのか？②どのような状況であれば、 ORが望ましいのか？あるいはSGが好成績を期待できるのか？状況別 の望ましい治療選択基準を明らかにする</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>血管外科 科長兼診療部長 墨 誠 代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>代表研究者 旭川医科大学外科学講座血管外科学分野 東 信良</p>